

議会だより



この看板は、可愛いお孫さんが中学校に通い始めた頃、急な坂道を汗びっしょりで自転車を押して帰る日々の姿に、おじいちゃん、いたたまれず考案されたとのこと。

「やっと帰って来たもうひと頑張りだよ！」そして「お疲れ様」、楽しく通って欲しいとの思いを込めた家族みんなの手作り作品です。

このところ、コロナ感染症の進行が更に心配されておりすが、「コロナも9合目！」もうしばらくの辛抱です。うがい、手洗い、マスクの着用など引き続きコロナ対策に取り組みましよう。

町内豊野新田さんのご家族

TOPICS

令和3年度予算を可決.....	2
3月定例会.....	4
10議員が町政を問う.....	5

コロナウイルスのワクチン接種体制の整備や学校給食の無償化、町内巡回バスの運行、デマンドタクシー事業の拡充など、今年度の町のお金の使い方が決定しました。

町のお金(予算)のこと

%)	依存財源 64億円 (63.8%)				
その他 4.3億円	地方交付税 36.8億円	交付金 3.2億円	国県補助 13.9億円	町債(借入) 8.6億円	その他 1.5億円

ルスワクチン接種体制確保事業

予算 2,731万円

新型コロナウイルスワクチンの接種体制を整え、予防接種をおこないます。



学校給食費無償化事業

予算 5,312万円

コロナ禍における子育て世帯を支援するため、小・中学校の給食費を無償化します。

誕生家庭育児用品補助事業

予算 90万円

新生児が誕生した家庭に必要な育児用品の購入費を助成します。(上限20,000円)



町内巡回バス運行事業

予算 1,729万円

交通拠点となる、きびプラザを起終点として、町内を巡回するバス(2台)を運行します。

書コンビニ交付環境構築業務

予算 880万円

マイナンバーカードを利用して住民票、印鑑証明等の証明書類をコンビニエンスストアで発行できる環境を整えます。



賀陽庁舎等駐車場整備事業

予算 2,500万円

賀陽庁舎北側にイベント開催時などの駐車場を整備するための工事経費です。

令和
3年度

当初予算可決

もっと知ってほしい

令和3年度一般会計予算

100億3,000万円

自主財源 36.3億円 (36.2)

町税
12億円

寄付金
10.1億円

繰入金
9.9億円



子育て支援センター事業

予算 1,293万円

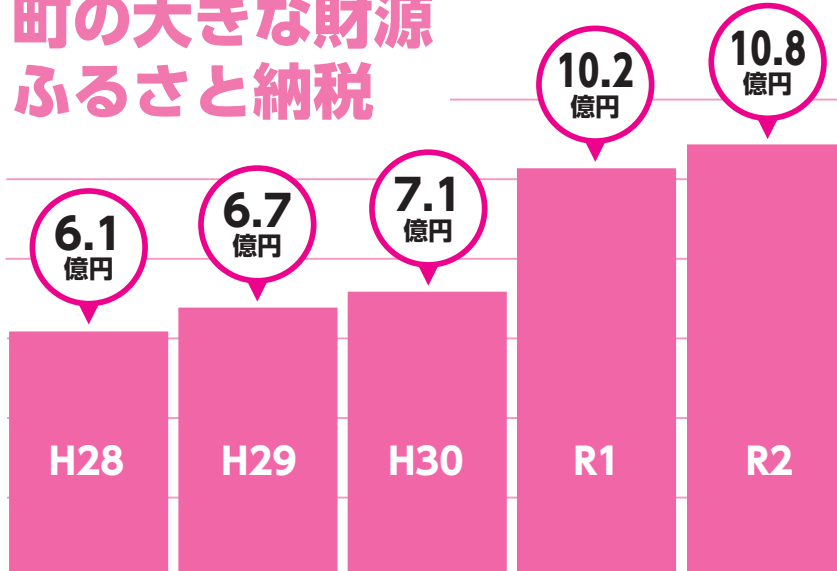
旧吉川保育園を活用して、子育て支援センターの運営をおこないます。



新型コロナウイルス

寄付額の推移

町の大きな財源
ふるさと納税



頑張る農家応援事業（農業用機械購入補助）、エコセンター修繕、大型特殊免許等取得補助、米粉用米の出荷上乗せ助成などに寄付金を活用しています。



新生児



証明

◎小規模、中小企業等振興条例を制定

◎教育委員会教育長の任命に同意

3月定例会

3月議会は3月4日開会。承認、条例改正、条例制定、条例廃止、契約の締結、管理者の指定、認定、請願、同意、2年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算、3年度一般会計予算、各特別会計予算が上程された。審議の結果、議案は原案どおり可決され3月23日閉会した。

吉備中央町小規模及び 中小企業等振興条例

中小企業などの振興の基
本となる条例。商工会、金
融機関、大企業、町民及び
町の役割などを明らかにし、
町民の暮らしと調和した地
域経済の発展と、町
民生活の向上を図る
ことを目的。

問 今回の条例 制定により、

どのような効果が期待
されるか。

答 現在のコロ ナ対策の支

援、創業・承継補助
金などの施策、これ
らの上位になる条例
であり、それぞれの
役割の中で、産業の



町の産業発展に期待

発展や生活向上につながる
新しい施策の研究や検討を
前向きに進めていきたい。

教育長の任命に同意

教育委員会教育長

石井 孝典（上竹）

○国体準備局主査

○競技力対策課主幹

○県立玉野光南高校教頭

○スポーツ振興課課長

○県立鴨方高校校長などを
歴任

条例の改正

○公益的法人等への職員派
遣に関する条例

○バス有償運行に関する条
例

○吉備中央町税条例

○一時保育事業実施条例

条例の制定

○吉備中央町子育て支援セ
ンターの設置及び管理に
関する条例を制定

旧吉川保育園跡地に「子
育て支援センター」を設置。
子育て家庭の交流促進、相
談や援助、講習の実施など
の役割を担う。

請負契約の締結

○伝送路光ケーブル化工事
4億40万円

(株)中電工 高梁営業所

吉備高原北部エリア、約
159 kmのケーブル延長。

管理者の指定

○ピオーネ集出荷・直売所
公益財団法人
吉備中央農業公社

○吉備中央町特用林産物
まいたけ菌床栽培施設
(株) 沼本組

人権擁護委員候補者の 推薦

山根 啓史（黒土）

請願書受理と意見書

選択的夫婦別姓制度の法
制化に反対する意見書の提
出を求める請願を受理。付
託委員会での審査を経て、
議会で報告し採択と決定。
姓は家族の呼称であり、
別姓導入による家族の絆や
「親子別姓」による影響、
通称使用の一般化の現状な
どの理由を記した意見書の
提出を賛成多数で議決した。

10議員が一般質問

10議員が一般質問

質問の順番はくじ引きによる

(3月16日)

ページ	議員名	質問項目
6	河上真智子	公共施設へのケーブルテレビ・Wi-Fiの整備 新型コロナワクチン接種
7	加藤 高志	広報のあり方 町のグローバル化
8	黒田 員米	住民の移動手段 新型コロナ対策
9	渡邊 順子	小中学校の給食費 吉備中央町での聖火リレー
10	石井 壽富	スーパーシティ構想 12月定例議会質問に対する進捗状況 安心安全なまちづくり

(3月17日)

ページ	議員名	質問項目
11	丸山 節夫	農業振興策 未来都市構想 町総合基本計画
12	日名 義人	学校再編 デジタル社会 ジェンダー平等
13	山崎 誠	コロナワクチン接種 小学校などの適正配置 産廃処分場
14	成田 賢一	合併協定書4「新町の事業所の位置」 協働のまちづくり インターネット環境の改善 定住促進
15	西山 宗弘	事業補助金 教育行政 職員の対応と町民サービス 防災

一般質問とは、町の政治行政全般にわたり、町長の方針や見解、説明を求めるものです。

公共施設にWi-Fiを

整備を前向きに



河上真智子

問

答

様の声をたくさん聞いています。現在、町指定の避難所では相当数テレビは導入されているが共用するには大型のテレビが有効であるということは認識している。

答

山本町長

1人が1台携帯電話やスマートフォンを持つ時代。個々でしっかり情報を得るためにもWi-Fi整備をぜひ前向きに考えていきたい。

公民館で公開講座を

問

この先、スーパーシティー構想が実現してもスマートフォンやパソコンが使えないと利便性は享受できない。インターネットを活用して買い物や

答

町長

接種はロマン高原かよう総合会館で集団接種をおこない、その後補完的に医療機関での個別接種をおこなうよう準備を進めている。ワクチンの供給体制は今だ安定していない状況。

問

先日シミュレーションをおこないました。初め

の大規模な集団接種でもあり多くの改善すべき点が見つかった。1日に200人もの接種をスムーズにおこなうためには住民の方の協力も必要だと思う。どのようなことをお願いしたいと考えているか。

答

石井保健課長

予診票のチェックに時間がかかった。持病のある方や体調に不安のある



痛くしないでね

方などは事前にかかりつけ医に相談して記入していただきたい。記入漏れがないように各項目を確認したうえで自署欄に署名をしていただきたい。また、注射部位はかなり上のほうなので当日の服装はしっかり肩が出るもので自分で脱ぎ着しやすいものにしていただきたい。

問

初めてのワクチン接種に対する不安を感じている方も多いと思う。不安解消への対応はどうするのか。

答

町長

不安を抱かれている方は多いと思う。その解消のためにはしっかりとした情報提供が大事だと思う。接種券を送付する時に副反応を含めた詳しい説明書を同封することになっている。新しい情報は随時ホームページや広報紙でもお知らせする。町ではコールセンターを開設しているのでもそちらも利用していただきたい。

問

災害時公民館に避難したが、テレビが見られずリアルタイムで情報が得られなかったり、Wi-Fiがないため携帯電話やスマートフォンが充分に活用できなかったとも聞く。最も情報が知りたい時にきちんと対応ができてこそ不安の解消につながるのではないか。

答

大木総務課長

平成30年の大災害の際避難された方々から同

問

現在での準備状況や供給体制はどうか。

新型コロナウイルス接種について

全くそのとおりだと思う。公民館の環境整備を進め公開講座についても教育委員会とも協議しながら今後取り組んでいきたい。

答

町長



加藤 高志

問

SNSで「発信力ある広報」を

答

SNSをしっかりと活用したい

また、広報紙は、先ほどのSNSとは違って住民皆様のITスキル格差に影響されない大切な情報ツールの一つ。2月の県広報コンクールにおいては、常連の自治体が複数年連続特選受賞を果たしているが、過去に当町広報紙の充実に資するべくその良点などをリサーチしたことはあるのか。

問

広報のあり方について二つ尋ねる。

山本町長も施政方針で述べられたが、スーパージンティー及びイノベーションヒルズ両構想は、本当に創生の好機であると私も感じている。その準備進捗に伴い、広く周知・注目もされつつあるが、大半がメディア効果によるもので町の発信力に乏しさを感じる。情報へのレスポンス性を欠き物言わぬ看板とも称される情報表示のみの現状ホームページと併せ、SNSなどを活用した発信力のある広報を目指すべく検討できないか。

答

山本町長

ご指摘のとおり現状の情報発信内容は主に町内向けが主流となっている。

そうした意味では、やはり広く外に向けての情報発信が弱い。このことを十分認識し今後につなげていきたい。特に両構想は、全国PRできるチャンスと捉え今後は幅広い世代に向けて、SNSなどをしっかりと使って受け身の態勢ではなく、積極的に情報発信をするんだという気構えで、人から人への情報の拡散を図



ホームページのイメージ

る。そのことが、この吉備中央町にしっかりと興味を持っていただき、関係人口を増やしていく手段の一つとも捉えている。

また、町の情報伝達手段の一つである広報紙も、優良自治体などの視察をおこない、良いところはしっかりと倣わせていただき、より魅力あるものになるよう今後一層、その姿勢の下に研修を重ね、より良い広報紙を作成していきたいと考えている。

町のグローバル化

問

未来を担う子どもたちのために、教育などにおいてグローバル化を視野に置くことは重要だが、単に英語学だけでなく、

偏見なく外国文化を理解し受け入れる気質を有する、そういった町そのものがグローバルであるということがも大切である。母国文化、実際に吉備中央町に暮らして感じた事項などを紹介し、相互理解と文化交流を

目的としたコミュニケーションを計画できないか。

答

町長

また、町自体のグローバル化の一環として、町内各施設の案内表示板に英語表記の付加を検討できないか。

私も異文化や歴史などをしっかりと尊重し合える関係、その環境づくりが大事だろうと思っっている。現在、公営塾ではイングリッシュキャンプをおこなうなどして、外国の方との交流に目を向けた取組を、国際化推進協会では、交流パーティー・交流カフェを開催し、このような取組の中から相互の文化を理解・交流を図り、住みやすい、優しい町、ダイバーシティな町になるよう取り組んでいる。

また、各施設の案内表示板の英語表記付加は、在住される外国人の方々のみならずビジネス・旅行など、吉備中央町に来られる方のために随時この英語化表記についてはおこなっていかうと思っっている。

町民の足の確保は？

3 施策を掲げ見直しを



黒田 員米

問

福祉移送の要支援者が利用できなくなっているのではないかと。利用者の不利益にならないようにすべき。そのためには近隣町が実施しているように利用条件の緩和や、町外の総合病院へも利用可能として多くの必要とする住民が利用できるよう、福祉タクシーと移送サービスを統合した新しいサービスを検討すべきでは。

答

大木総務課長

考え。▼新山地域の輸送サービスは来年度末終了。その際には地域と補助金も含め協議する。▼町内巡回バスは来年度幹線道路で運行。フリー乗降を設ける。各地域から運行路線まではデマンド型タクシーを利用してほしい。

答

山本町長

現在、町内の公共交通については多くの課題を抱えており、令和3年度で①高齢者が安全に利用できる交通手段確保のためタクシー事業の再編②きびプラザを拠点として町内の主要施設を巡回するバスの運行③高校生の通学環境を整え交流人口増加を図るため、きびプラザと岡山市内を結ぶバス路線の充実。この3施策を掲げ公共交通体系の見直しをおこなう。

▼きびプラザ／岡山医療センター便は実証実験を2年延長。▼ふれあいタクシーは業者の場所と加茂川地域でのデマンドバス運行により、エリアによって利用に偏りが認められる。▼福祉移送は運行を社協から民間業者へ変更。要支援資格者について新規には利用できなくなる。利用受付は福祉課となる。▼デマンド型タクシーは賀陽地域にも拡大運行する。▼通所付添サポートは活動が長く続くよう、行政も一緒に考え一緒に進む



優しい気持ちで支える「住民の足」

問

▼町内の個別接種の医療機関はどこか。▼集団接種は町内1か所だが、すべての接種希望者は会場へ行くことができるのか。▼付添サポートの車両なども活用し、自治会や各組織に乗り合わせや送迎の協力を仰ぐべきではないか。

答

石井保健課長

個別接種の医療機関は現在調整中。町内6路線で送迎バスを運行するが、乗合せに協力してもらえば大変助かる。

答

総務課長

一概には他の市町村の状況を捉えて同じことをすることは難しいが、全体像を考えながら検討したい。

答

町長

地域力によって助け合い交通などの仕組みを、自治会の中で作り上げてもらえるよう行政としても支援、協力をしていく。

答

奥野福祉課長

付添サポートの車両利用は目的外利用となる。

答

町長

まずは地域力をお願いし、そうした中で行政の持つ力をフルに活用することは当然である。しかし、目的外利用などルールは無視できない。ただし、そのルールを作っている国県に対しては強く要望したい。

ワクチン接種



渡邊 順子

問

学校給食費無償化について

答

今後の情勢を見ながら

問

昨年9月より、小・中学校の給食費が無償となっている。町長は、施政方針の中で、令和3年度も引き続き無償にする」と述べられた。この経済支援が、年度途中で打ち切られることはないのか、また、令和4年度からは、給食費が無償となるのかどうかを尋ねる。

答

山本町長

給食費無償化は、昨年9月から今年3月までおこなっている。町では、昨年度と同様、令和3年度も給食費の無償化を続けるべく、議会でも予算計上をしている。ただ、今後コロナが収束し、経済が元に戻った、そのようなときに、なかなか一遍給食費を無償にして次にまた有償というものは、大変誰しもこたえるものである。しかしながら、明確にここでその後も無償化ということとは、なかなか言えない状況である。その時点では、社会状況、また経済状況、そして町の財政などもいろいろと勘案し

て、その後のことは方向性を出していきたい。



食事もしずかに

問

引き続き無償化をお願いしたいが、無償化でなければ、この大きな予算をほかの子育て支援に使われるということとは、考えていないか尋ねる。

答

町長

限られた、大変大事な予算である。その予算の中で、それぞれ重要な施策などがある。どこにどれだけ使うのが妥当とか、それから町民の方々、議員の方々からも情報提供なりご要望もお聞きしながら、しっかりとした予算編成を

していきたい。

聖火リレーについて

問

町でも聖火リレーが実施予定である。具体的な情報としては、5月19日とスタート地点・ゴール地点だけである。町民の方々への周知の仕方とコロナ対策やライブ中継・ネット配信など含めてほかに具体的に情報開示できることがあれば教えていただきたい。

答

町長

岡山県警本部と連携しながら準備を進めている。町では、5月19日午前11時10分に吉備高原都市内の東西住区交差点付近を出発し、吉備プラザ、さんさん広場に11時40分に到着予定である。聖火ランナーについては、町内から2名出場される。到着の際には、ミニセレブレーションとして聖火到着のセレモニーを若干する予定。

新型コロナウイルス感染症対策として、組織委員会から、3密の回避、飛沫感染、接触感染の防止、殺菌消毒の徹底と体調管理、その確認の徹底などを示されている。沿道での応援は、適切な距離などを取りながら、マスクを着用し、大声を出さずに、拍手による応援にとどめる。沿道の密集を避けるために、NHKのインターネットライブ中継がおこなわれる。開催するにあたり、非常に厳しい条件ではあるが、消毒液などの設置や3密回避の周知、コロナ対策をしっかりとこないながら、記憶に残る聖火リレーにしたいと考えている。当日は、交通規制などもあるので、今後、町公式のホームページや告知放送、広報紙や掲示物などにより、しっかり周知をしていきたい。安全・安心な聖火リレーの運営をしっかりと心がけて、町民の皆様とともに、思い出になる、記憶に残る聖火リレーにしていきたい。町民の方には、ご協力をお願いしたい。

スーパーシティー構想の状況は

答

提案書の最終調整段階である



石井 寿富

問

今、吉備中央町は、国が募集するスーパーシティー特区の指定を受けるべく、民間企業、官公庁、金融機関、大学などが一体となって準備を進めているところである。最近ではメディアにも取り上げられ、大変な注目と関心を集め、大いに期待しているところだが、現在の進捗状況は。

答

山本町長
内閣府の国家戦略

特区指定における公募申請の締切りが4月16日のため、今、吉備中央町における医療、教育、通院、通学、買い物などの課題を解決し、子どもから高齢者までがわくわくしながら安心して暮らせる町づくりを目指した提案書を作成している。現在までに、推進協議会を3回、地元住民説明会を1回、分科会を数回開催して、医療・福祉、教育、地域ポイント、移動、防災・エネルギーの5分野における取組の最終調整段階に入っている。しっかり肉づけをした申請をして6月の吉報を待ちたい。

街路灯の設置、吉備高原小付近の改修
原小付近の改修



安全な進入路に

問

昨年12月定例議会において質問をした吉備新線沿いへの街灯設置に係る電柱設置者との交渉状況について、及び吉備高原小学校付近の道路に係る県との交渉状況及び整備計画について問う。

答

町長
街路灯設置のため

答

には街路灯専用の架線工事が必要だが、電力会社事前に協議し内諾を得ている。令和3年度早々に設置申請に向けた正式な協議をおこない、合わせて設置事業者を選定し早期に工事を進めていきたい。

岡田副町長

中学校用地駐車場への出入り口は、県道と町道とが交差するところに変則的に接続しているため危険。そこで、現在の進入路から東へ約20m行ったところへ、町道に対してTの字型に2車線の出入り口をつけるよう今計画をしている。ただ、県有地であるため県に対して改良に向けた協議と承認手続きをおこなっている。

問

先日、栃木県で大規模な山火事が発生し、多くの方が避難を余儀なくされた。吉備中央町も山林が約7割を占めることから、決して対岸の火事と

安心・安全なまちづくり

まちづくり

して片づけられない。

現在、町では森林環境譲与税を活用し、間伐の作業を進め、町道の草刈り、交通支障木や危険木の伐採など里山整備の補助制度を設け、荒廃防止策を講じているところである。しかし高齢化の進行により一層荒廃が進むと予測される。危険な要因を取り除く方策の検討と、防火に対する啓蒙を強化すべきと考えるがいかがか。

答

町長

山林火災がこのところ頻発している。枯草に安易に火をつけることは厳に慎んでいただきたい。もしそのような必要が生じたときには、十分な備えをして作業していただくよう強くお願いをする。議員と同じく、私も山林火災の原因のひとつに山林の荒廃があると思う。そうした中で、森林環境譲与税が活用できればありがたいが制限があり、そこで、県を通じてもつと弾力的に使えるようお願いをしている。



丸山 節夫

問

農業の将来に対する町長の見解は

答

営農維持へきめ細やかな支援

問 町の農業は、低生産効率に対する労力、経費の増加や、コロナ禍による今年産生産物価格の低下が懸念される。農業の将来性、存続に対する基本的対策と方針を問う。

答 **山本町長** 農業立町を支える農家の支援策として、頑張る農家応援事業や農業機械免許取得事業補助、ふるさと米出荷農家奨励金また、今年度からふるさと米出荷数量の増俵など、様々な支援に取り組み。よりきめ細やかな農家支援をおこない、営農の維持に繋がる施策の実現を目指す。

農業座談会の必要性

問 厳しい農業情勢の改善策として、農家の日々の声は欠かせない。施策の一例として農業座談会の必要性を問う。

答 **町長** 農家の声を聞くことは大事である。これまでも農業施策に対する意見

や希望を聞くことで政策実現に向けた例も多い。今後、様々な機会で情報を得ながら施策の実現に努める。



芝植生で作業軽減

答 **山口農林課長** 芝生植生の取組みを提案するが、実証の可能性を問う。

問 農業生産年齢の高齢化により、自ら作業をおこなうには限界を生じている。草刈り応援隊制度への参画団体数が少ない中で、作業の省力化の一例として、芝植生による取組

草刈り作業の省力化

を進める。

スーパーシティー構想

問 指定を受け、多額の財源を要するが、民間資金や国の支援、町の財政投入と町民への周知、理解を得る手法を問う。

答 **片岡企画課長** 町の財政に無理を生じないよう、国の補助事業や民間事業者の協力を視野に入れ、財源確保を検討する。また、地元住民と意見交換を進め、理解や周知に努める。

県連携と都市計画凍結解除

問 現計画では対象地区を吉備高原都市に特化しているが、本構想を契機とする県との連携と後期計画凍結解除の意向を問う。

答 **町長** 協議会には県副知事や議長が参加されており、オール岡山の思いに期待し、相互協力による事業化を図る。

また、計画凍結に対し、立ち止まる後期都市計画を先に進める思いは強い。県は、東西住区が埋まった時点で次に進む計画である。スーパーシティー構想が成功することは吉備高原都市を1歩も2歩も前進することに間違いはないと確信する。

その他、データ連携基盤の活用、イノベーションヒルズ構想、町の総合基本計画の主要重点施策の実現について尋ねた。

小学校再編は住民合意で

望まれる学校像を論議対象に



日名 義人

問

答

なる」などの切実な声も聴く。町長は、今後の論議にどうリーダーシップを発揮していくつもりか。

答

山本町長

答申では、「複式学級を解消し、3校以下に再編統合」との指標が示された。小学校は中学校より地域に根差した存在。

現在「考える会」には校園数、場所だけにとどまらず、望まれる教育環境、教育にも重きを置いた論議をお願いしている。

少人数学級の見直し

問

答申は、「再編統合後に目指す学校」について提起している。学力偏重、競争主義教育批判

程されるや危惧の念が起る状況となっている。町長の現状認識は。

答

町長

今後、デジタル社会化が加速するだろう。2030年頃の実現されるであろう社会を先行実現し、住みやすい町を目指すのがスーパーシティー構想だ。

そのためには、多くのデータを横並びに使う、規制改革も必要となる。国と相互連携し、情報システムの高度化、集約の推進が必要となる。その時、データ管理上でプライバシーがある程度、保護されないといけない。サービスの享受も強制でなく理解の下にと考えている。

答

町長

も強い。さらに今、文科省も少人数学級の見直しを進めている中、町長の考えを問う。

小規模校のメリット、デメリット論議については、答申にも記されている。地域の中核としての学校についても、単に児童数が減ったから学校を集約すればいいとは考えていない。答申を尊重した論議、また、会の今後の取り組みの中から提示を待ちたい。

スーパーシティー構想

問

スーパーシティー構想は、住民説明会まで進んで来た。一方、国会ではデジタル関連法が上

いるやに聞く。事業の具体化は民間業者であり警戒心も高まざるを得ないと考えるがどうか。

答

町長

そういう危惧も聞くが、デジタル関連法とスーパーシティー構想の考えは若干異なるかと解釈している。関連法は、しっかりと研究し、取り組みの是非は検討していく。

男女平等参画社会

問

今、男女平等参画社会、特に意思決定の場に女性登用が問われている。本町の実情、今後の人事方針を聞く。

答

町長

この時期、詳細には言えないが、性別にとらわれず職員の能力、本人の意向も勘案し、適材適所一番に人事を進める。

デジタル関連法案

問

上程されたデジタル関連法案では、例えば行政機関、独立行政法人、民間の個別法を一本化し、行政長の判断（本人同意なし）で利用、提供可能にする規定が盛り込まれて

問

「魅力ある学校・園を考える会」の論議が始まっている。そもそも地域の疲弊、少子高齢化の中で生じた課題であり、これからの地域再生と結んだ深い議論が必要だろう。町民間では、「子どもが少ないのだから仕方ない」「もう結論は出ているんだろ」との諦めの一方で、「小規模校の良さもあるのでは」「地域から学校が無くなればよいよ若者が住めなく



山崎 誠

問 ワクチン接種いつになるのか

答 時期未定だが万全の態勢で

問 コロナワクチン接種がどうなるのか、多くの町民が心配している。ワクチンの供給など不確定も多いが、接種の開始時期、接種の順、副作用への対応、接種の任意性、町民への周知など尋ねる。

答 山本町長 国から県へのワクチン配分が4月5日から始まったが、今の時点で町にワクチンが何日に来るか分かっていない。そのため接種開始は確定できていない。

答 石井保健課長 接種の順は、医療従事者、65歳以上の高齢者、65歳未満の基礎疾患のある人、高齢者施設などの従事者、それ以外の人となっている。県との協議が毎週あり、今後確定していく。接種券（クーポン券）が届いたら予約していただくことになる。町は集団接種を基本に、補完的に医療機関での個別接種をおこなう。集団接種会場に医師の常駐は確保できる見込みである。ワクチン接種はもちろん任意で、強制することはない。町民への周知は、3月8日65歳以上の人にはアンケートの形でお知らせしている。広報紙、ホームページなどで随時お知らせしていく。

問 各小学校区で説明会開催を
昨年3月「小学校などの適正配置」に関する答申書が出され、今年1月「魅力ある学校・園を考える会」が設置された。小学校・園は子どもの育ちと初等教育の重要な場であり、同時に地域の芯でもあ



万全の態勢に向けて

問 各小学校区で説明会開催を
昨年3月「小学校などの適正配置」に関する答申書が出され、今年1月「魅力ある学校・園を考える会」が設置された。小学校・園は子どもの育ちと初等教育の重要な場であり、同時に地域の芯でもあ

答 町長 現在「魅力ある学校・園を考える会」で、魅力ある学校づくりの方向性を検討している。今年の夏をめどに方針案の取りまとめをしていただきたいと思っている。方針案がましまり次第、各小学校区で説明会を開催したい。

問 決まった方針をた
だ説明する会ではなく、地域の意見も取り入れられる会にすべきと思うが
どちらのスタンスをとるのか。

答 町長 時期は多少延びても良いと思っている。あるべき学校の姿を導き出した

問 竹部地区、上竹地区に産廃
処分場の計画はあるのか
昨年の議会で、竹部地区に産廃処分場の

答 住民課長 意見照会は令和2年10月22日付で、回答は11月11日付でおこなっている。回答書は議会へ開示する。

問 上竹地区の計画に
意見照会があったのはいつか。また回答はいつか。回答書を議会に開示できるか。

答 小谷住民課長 竹部地区の計画に県からの意見照会はない。届け出不要の一時保管場所とも考えられるが、現場の進捗も見られない。違法行為がないようパトロールをおこなう。上竹地区の計画は事業者から県に事業概要が出され、意見照会があり回答している。

問 竹部地区、上竹地区に産廃
処分場の計画はあるのか
昨年の議会で、竹部地区に産廃処分場の

答 町長 竹部地区、上竹地区、吉川地区で説明会が開催されて以降、校区での説明会が進んでいない。説明会は予定しているか。

夢談義を全町で

積極的に広報紹介に努める



成田 賢一

答

問

現在では、職員に地域活動へ積極的参加をすることで交流機会を増やすよう努めるよう促している。

であり、予算の可能な限り考えたい。

町の本庁事務所は

問

合併協定書には、都市内に設置するとあるが、合併以来17年間、協議会などを設立していない。スーパーシティー構想により、吉備高原都市の整備状況が大幅に変わる可能性がある。町の未来をみんなで考える会を設置してはどうか。

問

公民館、図書館、役場などにWi-Fi整備すべきだと思うが、どうか。

問

合併協定書には、都市内に設置するとあるが、合併以来17年間、協議会などを設立していない。スーパーシティー構想により、吉備高原都市の整備状況が大幅に変わる可能性がある。町の未来をみんなで考える会を設置してはどうか。

答

公共施設への整備調整を図る。

問

合併協定書には、都市内に設置するとあるが、合併以来17年間、協議会などを設立していない。スーパーシティー構想により、吉備高原都市の整備状況が大幅に変わる可能性がある。町の未来をみんなで考える会を設置してはどうか。

答

県内では住民会が動画を配信したり、高齢者サロンでスマートフォンでの勉強会をおこなっているところもある。65歳以上の世代向けインターネット環境整備の補助金を開始してはどうか。

答

この事業は旧加茂川町でおこなわれていた。

答

慎重に検討する。

問

合併協定書には、都市内に設置するとあるが、合併以来17年間、協議会などを設立していない。スーパーシティー構想により、吉備高原都市の整備状況が大幅に変わる可能性がある。町の未来をみんなで考える会を設置してはどうか。

問

一層図るために、テレワーク移住者向けのインターネット環境等整備事業補助金を開始してはどうか。

答

この事業は旧加茂川町でおこなわれていた。

答

今後しっかり研究する。

問

町内のある地区で夢談義がおこなわれている。これは町民と町幹部が意見交換、夢を語り合うことがその目的である。このような会を、全町で取り組めるように努めるべきでは。「皆さん10人以上、1か月前の予約で執行部が現地に行きます。」と、広報紙などで積極的に広報発信すべきだと思うがどうか。

問

現在、20代職員の69%、30代職員の59%が町外出身者あるいは町外から通勤している。これから行政を担う世代に、現場の声を肌で感じてほしい。職員が、それぞれの自治会の担当となり、地域の困りごとを聞いたり、町が取り組んでいる事業

問

現在、20代職員の69%、30代職員の59%が町外出身者あるいは町外から通勤している。これから行政を担う世代に、現場の声を肌で感じてほしい。職員が、それぞれの自治会の担当となり、地域の困りごとを聞いたり、町が取り組んでいる事業

答

この事業は旧加茂川町でおこなわれていた。

答

今後しっかり研究する。

問

合併協定書には、都市内に設置するとあるが、合併以来17年間、協議会などを設立していない。スーパーシティー構想により、吉備高原都市の整備状況が大幅に変わる可能性がある。町の未来をみんなで考える会を設置してはどうか。

問

一層図るために、テレワーク移住者向けのインターネット環境等整備事業補助金を開始してはどうか。

答

この事業は旧加茂川町でおこなわれていた。

答

今後しっかり研究する。

問

合併協定書には、都市内に設置するとあるが、合併以来17年間、協議会などを設立していない。スーパーシティー構想により、吉備高原都市の整備状況が大幅に変わる可能性がある。町の未来をみんなで考える会を設置してはどうか。

答

今後しっかり研究する。

答

この夢談義は旧加

この夢談義は旧加



みんなで夢を語り合おう (平成29年)



西山 宗弘

問

補助金期限の見直しは

答

できる限りの対応にご理解を

問

農業の安全で効率的な機械化の推進を図るため、農業者が大型特殊自動車免許を取得する経費に対して補助金が交付され、免許を取得する者にとって大変ありがたいことではある。令和2年4月1日からの人が対象となるため、4月以前に取得した者に対して何らかの対象となるような施策を取り組んでいただけないか。

答

山本町長

この事業は令和2年8月定例会で補正予算で議決をいただき、9月1日に要綱が交付された。

この補助金は必要性を考慮し、予算年度の令和2年4月1日以降に免許証を交付された方までさかのぼり、交付の対象としたのでご理解いただきたい。

教育行政の現状と問題

問

いろいろな回りの情勢や新型コロナウイルス感染症の拡大など、子どもたちの心情は計り知れないものがあると考えられる。そうした中で、安心・安全で健全な学校教育が受けられているだろうか。もしも、問題があるとしたら教育委員会としてどのように対処しているのか。

答

富士本事務局長

教職員は児童・生徒ひとりひとりに応じた学習指導や生活指導をおこなう、子どもたちは落ち着いた学習環境の中で学校生活を送っている。

今年度、小学校では新学習指導要領が完全実施となり、主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業改善を進めている。また、今



トラクターにも免許が

年は新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休校や行事などの不実施があったが、夏期休業の短縮などで授業時数を確保し、本年度の学習内容も履行できている。

学校教育が抱える喫緊の教育課題としては、更なる学力向上に向けた取り組みの推進や長期欠席、不登校などの生徒指導上の問題、教職員の働き方改革などがあげられる。

これらの解決に向けて、教育委員会が学校や地域と連携を深め、心豊かでたくましい吉備中央町の子どもの育成に向けて、教育環境の更なる充実に資する取り組みを推進していきたいと考えている。

防災への取り組み

問

「天災は忘れた頃」にやってくる」と言う言葉があるが、文明が進めば進むほど大きな災害が発生するようで、日頃から災害についての認識を高め

ていかなければと考える。

町消防・防災委員会が平成28年3月に設置された。しかし、委員会は発足しているが、活用に至っていない。今一度見直していただきたい。また、行政として防災についてももう少し力を入れて欲しい。

答

町長

本町の防災に関する委員会などの組織は、町防災会議、町国民保護協議会として町消防・防災委員会の3つの組織がある。それぞれしっかり協議、検討している会である。いずれも重要な委員会であり、様々な問題解決、また予防のために組織にご協力をお願いしていきたい。

災害は忘れた頃にと言われていたが、昨今は忘れる前にやってくるような事態であり、そのような意識をしっかりと持って防災に当たっていききたい。

その他「職員の対応と町民サービス」について尋ねた。

追跡

あの時の質問
どうなった？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。(平成30年6月・9月定例会の質問)



Q 質 問

気象庁も災害と呼ばれる酷暑を考えれば、教育施設、集会所へのエアコン設置、ならびに皆で暑さをしのぐクールシェアへ取り組むべきでは。

A 答 弁

教育現場からの要望や地域コミュニティー活動を円滑におこなうためにも、エアコン設置は教育現場には本年度中に。集会所へは前向きに。クールシェアは住民へ周知したい。

現状 (教育委員会・協働推進課)

町立小学校9学校すべての普通教室にエアコンを設置した。地域拠点施設である長田ふれあいセンター、豊岡いきいきプラザ、新山ほほえみセンターの各大ホールにエアコン設置。クールシェアは図書館などを中心に実施に向けた検討を進めている。

Q 質 問

交通空白地と交通不便地域の対応策として、町内路線バスの運行計画案やタクシー事業の再編は。

A 答 弁

実証実験を検討中。タクシー事業では、拡充を検討している。

現状 (総務課)

「吉備プラザ」を起終点とする町内巡回バスの本年10月からの実証運行開始に向けて準備中。タクシー事業では、加茂川地区を運行区域としているデマンドタクシーを賀陽区域へ拡大。利用者ニーズを把握し、地域公共交通の充実に努める。



今年度も、議会の様子が町民の皆さんにわかりやすく届けられますよう、丁寧な紙面づくりに努めてまいります。(丸山 節夫)

本号では新年度予算や一般質問の内容など3月定例会の概要を紹介しております。

今年度も、議会の様子が町民の皆さんにわかりやすく届けられますよう、丁寧な紙面づくりに努めてまいります。(丸山 節夫)

編
集
後
記

日ごとに躍動の春を感じる時節となりました。

このところ、新型コロナウイルスの再拡大が懸念されています。

今後も「新しい生活様式」の実践に努め、5月中旬予定のワクチン接種の効果に期待しながら、一日も早く安心して暮せる日々の生活に戻れることを願っております。